



**大崎 麻子**  
**UNDP東京事務所 アドボカシー・スペシャリスト**

上智大学比較文化学部卒、コロンビア大学大学院国際関係修士課程修了。1997年 UNDP ニューヨーク本部入局。開発政策局にて UNDPのジェンダー主流化政策の立案と実施、及び UNDP/ 日本 WID基金のマネージメントを担当。2004年に退職後、フリーの専門家として、外務省、内閣府、「ほっとけない世界のまずしさ」、G8サミット NGOフォーラム他にて、開発政策やジェンダーと開発にかかる仕事に従事。2007年10月より現職。TICADIVとG8サミットに向けたアドボカシー活動に携わる。